

# 伊藤忠エネクス株式会社

(東証プライム 証券コード：8133)

## 2024年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2023年11月10日

## ご注意

資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り及び当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあります。したがって、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

- ・本資料の数値について、特に断りのない場合はすべて国際会計基準（IFRS）ベースで記載しています。
- ・本資料では、下記のとおり表記を置き換えております。

「営業活動に係る利益」	⇒	「営業利益」
「当社株主に帰属する四半期純利益」	⇒	「四半期純利益」

# 業績ハイライト

## 2024年3月期第2四半期 決算概要

- 「**第2四半期純利益**」は、前年同期差 20億円増加の**89億円**。
- 前年同期好調の産業ビジネス事業における反動とホームライフ事業における利幅へのマイナス影響があったものの、電力小売事業・自動車ディーラー事業の貢献及び資産入れ替えの為の固定資産売却益により増益。

売上収益

4,556億円 (前年同期比△8.8%)

営業利益

159億円 (前年同期比+46.7%)

売上  
総利益

429億円 (前年同期比△2.4%)

四半期  
純利益

89億円 (前年同期比+28.5%)



# 目次

---

## 1. 2024年3月期第2四半期決算概要

- ① 全社概要
- ② セグメント別概要

## 2. 中期経営計画の進捗状況

- ① 概要・全社取り組み状況
- ② 各部門の上期進捗状況

## ◇ Appendix

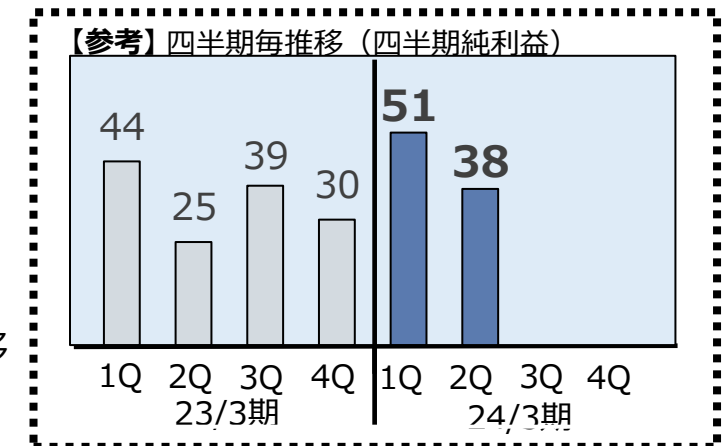
## 1. 2024年3月期第2四半期決算概要

### ① 全社概要

# 2024年3月期第2四半期 決算/サマリー

(億円)	22年度 1-2Q実績	23年度 1-2Q実績	増減
売上収益	4,995	4,556	△439
売上総利益	440	429	△10
販管費	▲333	▲339	△6
固定資産損益	▲1	65	+66
営業利益	108	159	+51
持分法による投資損益	13	2	△11
四半期純利益	69	89	+20
売上総利益に対する販管費率	75.7%	79.0%	+3.3 pt
中間配当 (円/株)	24	26	+2

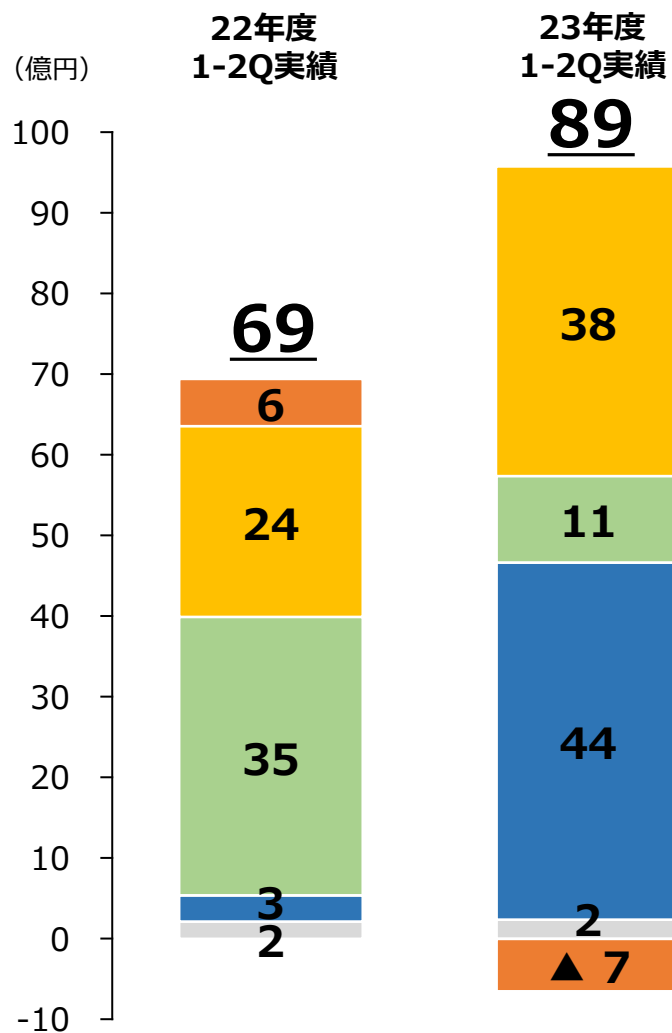
23年度 通期計画	進捗率
12,000	38%
209	76%
135	66%



□ 「第2四半期純利益」は、前年同期差20億円増加の89億円。

□ 前年同期好調の産業ビジネス事業における反動とホームライフ事業におけるLPガス輸入価格の下落に伴う在庫単価変動の利幅へのマイナス影響があったものの、電力小売事業や自動車ディーラー事業が好調に推移したことに加え、資産入れ替えの為に固定資産売却益により増益。

# セグメント別 第2四半期純利益



## 主たる増減要因

### ■ ホームライフ(前年同期差：△12億円、計画進捗率：↓)

LPガス輸入価格の下落に伴う在庫単価変動の利幅への影響により減益

### ■ カーライフ(前年同期差：+15億円、計画進捗率：89%)

自動車ディーラー事業の貢献とCS跡地の売却益により増益

### ■ 産業ビジネス(前年同期差：△24億円、計画進捗率：35%)

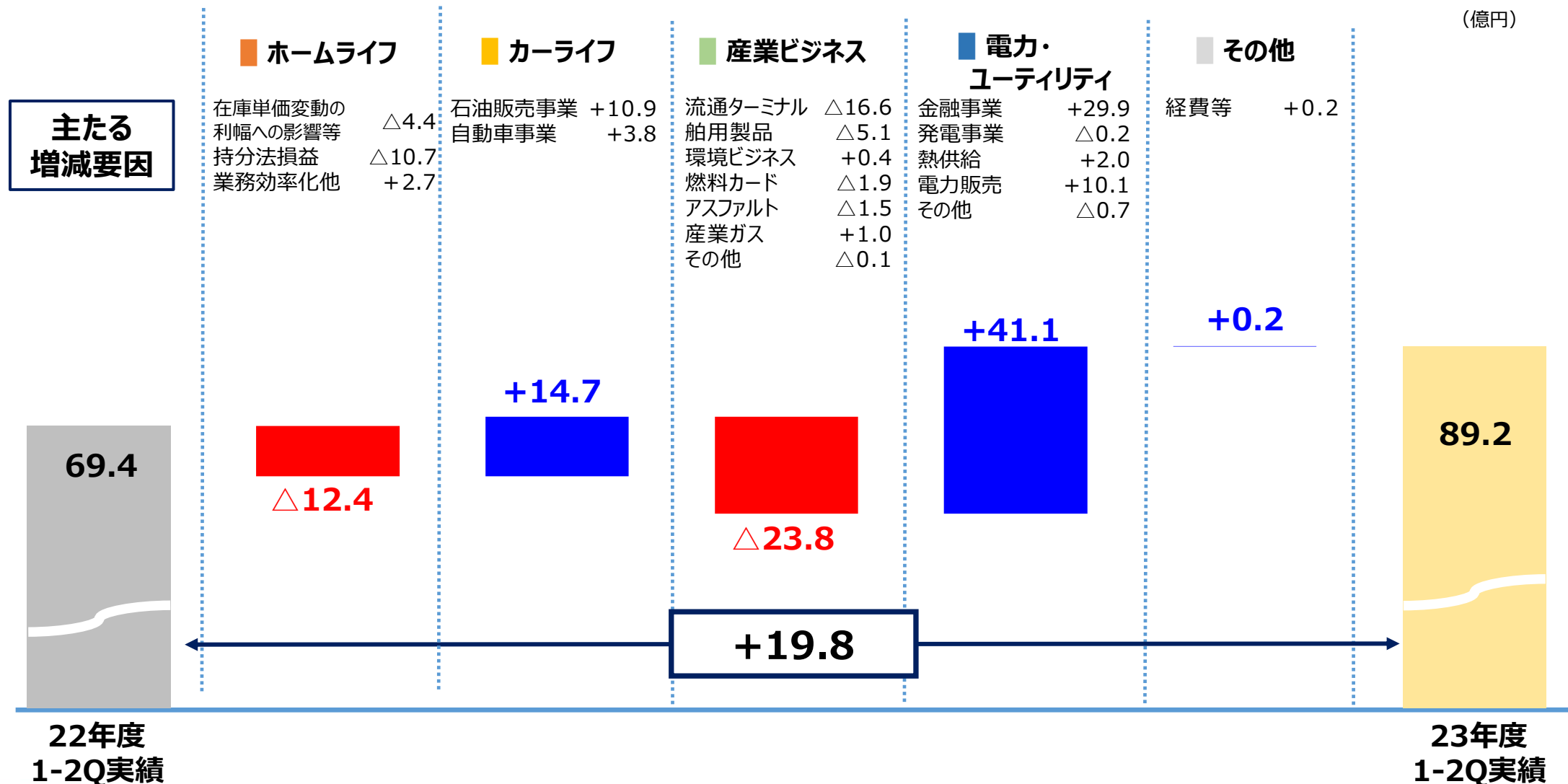
前年同期に好調であった流通ターミナル事業・船舶燃料販売事業等の反動により減益

### ■ 電力・ユーティリティ(前年同期差：+41億円、計画進捗率：120%)

電力小売事業の貢献とメガソーラー売却益により大幅増益

(※) CSとは、カーライフ・ステーションの略であり、当社が提案する複合サービス給油所

## セグメント別 第2四半期純利益分析

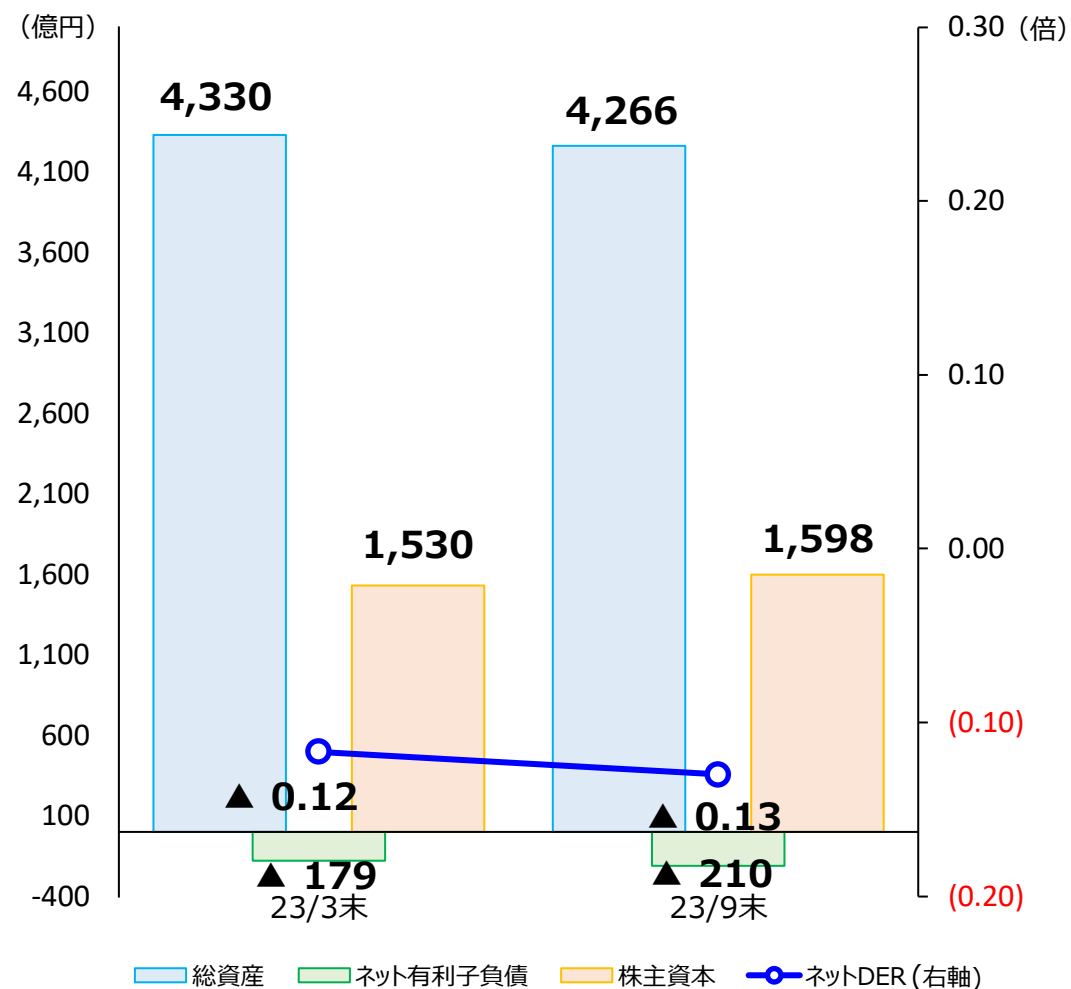




## メガソーラーの売却等により総資産減少

- **総資産** : メガソーラーの売却等により、前期末比**65億**円減少し、**4,266億**。
- **株主資本** : 当期純利益の積上げ等により、前期末比**68億**円増加し、**1,598億**円。
- **PBR** : 株価上昇により、前期末比**0.23倍**改善し、**1.06倍**。

(億円)	23年3月末 実績	23年9月末 実績	増減
総資産	4,330	<b>4,266</b>	△ <b>65</b>
ネット有利子負債	▲179	<b>▲210</b>	△ <b>32</b>
株主資本	1,530	<b>1,598</b>	+ <b>68</b>
株主資本比率	35.3%	<b>37.5%</b>	+ <b>2.1 pt</b>
ネットDER	▲0.12倍	<b>▲0.13倍</b>	△ <b>0.01倍</b>
PBR	0.83倍	<b>1.06倍</b>	+ <b>0.23倍</b>



## キャッシュ・フロー

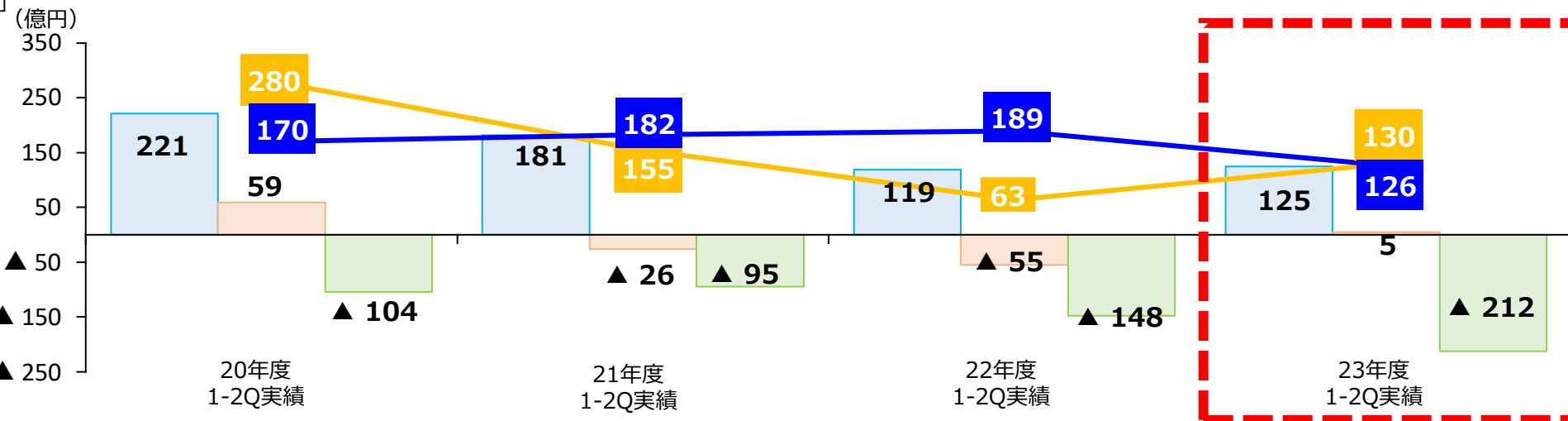
## 営業CF創出を継続、財務CFは借入金の返済等により減少

キャッシュ・フロー (億円)	20年度 1-2Q実績	21年度 1-2Q実績	22年度 1-2Q実績	23年度 1-2Q実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	221	181	119	125
投資活動によるキャッシュ・フロー	59	▲26	▲55	5
(フリー・キャッシュ・フロー)	280	155	63	130
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲104	▲95	▲148	▲212

## 実質的なキャッシュ・フロー

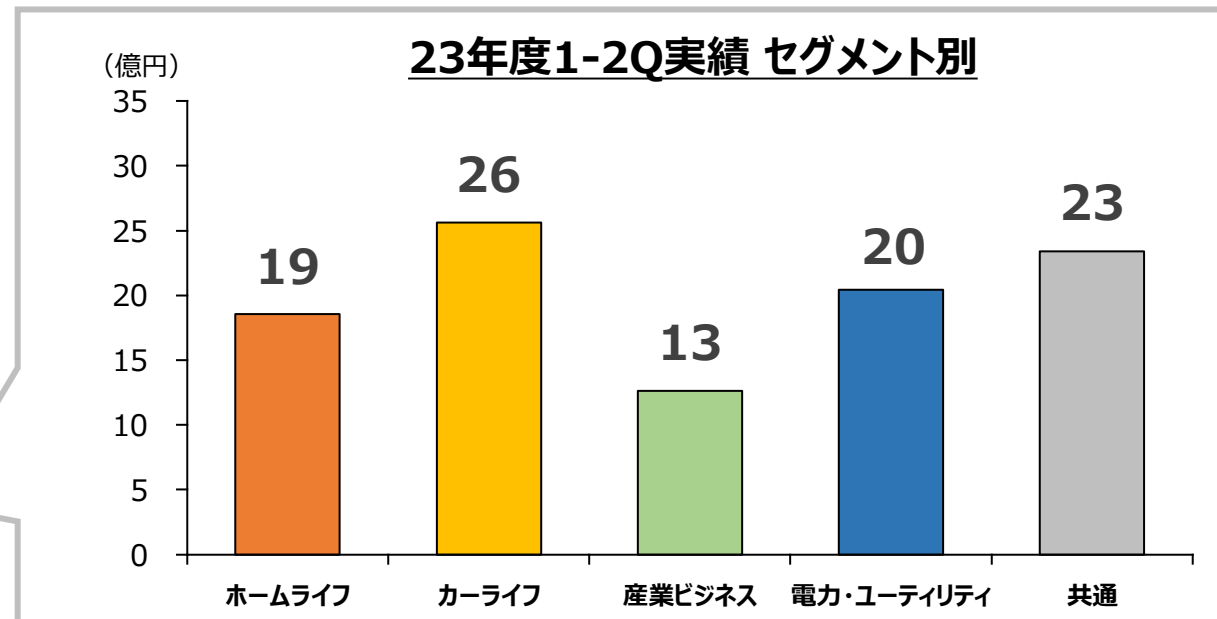
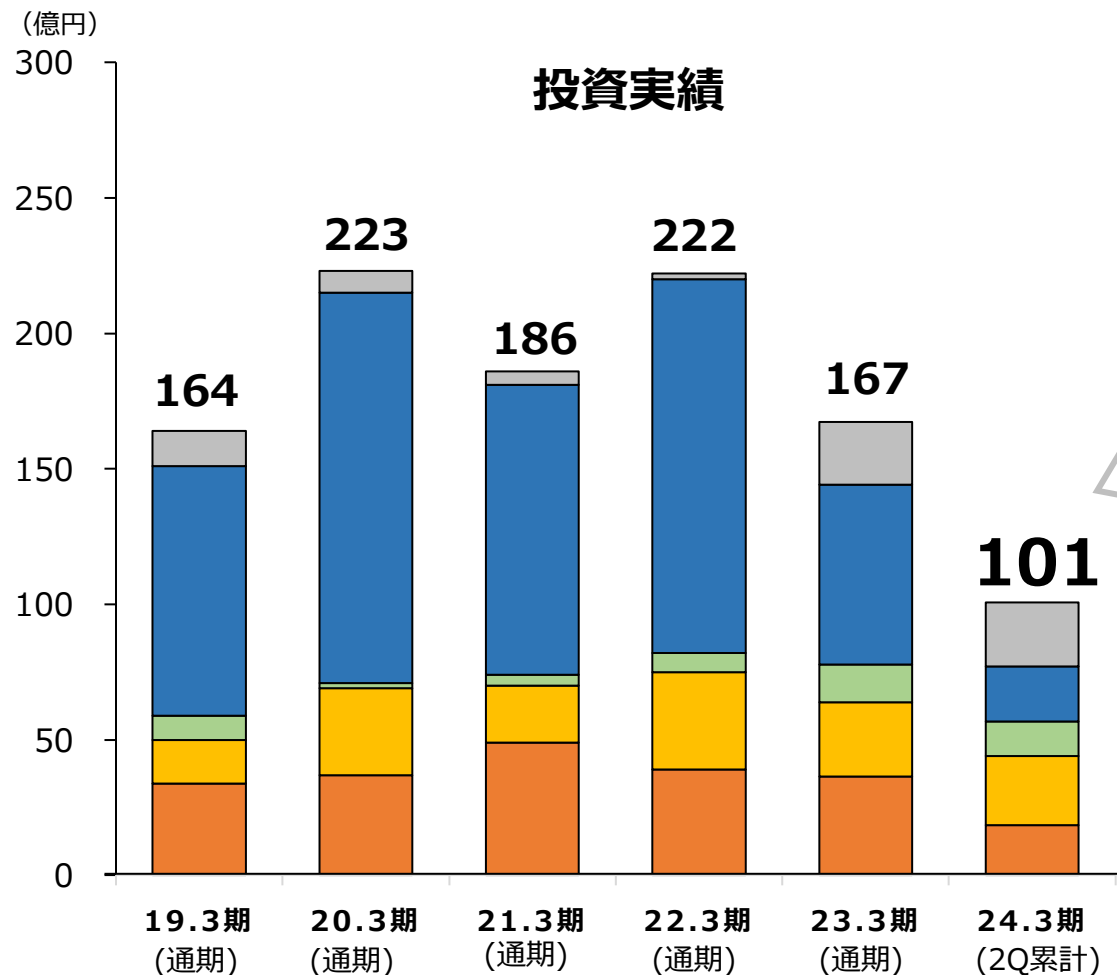
実質営業キャッシュ・フロー(※)	170	182	189	126
------------------	-----	-----	-----	-----

(※)「営業CF」-「運転資金等の増減」



## 投資の推移

# 営業権の買収・発電所投資・DX投資等に着手



### 主な新規・戦略投資実績

ホームライフ	営業権買収、LPWA投資 (※) 等
カーライフ	自動車アフターマーケットへの投資 等
産業ビジネス	産業ガス関連設備新設、シェアサイクル 等
電力・ユーティリティ	太陽光発電投資、デマンドレスポンス関連投資 等
共通	新基幹システム構築、研修所新設 等

(※) Low Power Wide Areaの略称であり、消費電力を抑えて遠距離通信を実現する通信方式

# 1. 2024年3月期第2四半期決算概要

## ② セグメント別概要

# セグメント別業績

(億円)		22年度 1-2Q実績	23年度 1-2Q実績	増減	増減率 %	23年度 通期計画	進捗率
■ 全社	売上収益	4,995	4,556	△439	△8.8%	12,000	38%
	営業利益	108	159	+51	+46.7%	209	76%
	当期純利益	69	89	+20	+28.5%	135	66%
■ ホームライフ	売上収益	351	284	△67	△19.1%	—	—
	営業利益/損失	2	▲4	△7	↓	—	—
	当期純利益/損失	6	▲7	△12	↓	27	↓
■ カーライフ	売上収益	2,734	2,984	+249	+9.1%	—	—
	営業利益	44	70	+26	+59.7%	—	—
	当期純利益	24	38	+15	+61.9%	43	89%
■ 産業ビジネス	売上収益	1,365	676	△689	△50.5%	—	—
	営業利益	50	15	△35	△70.6%	—	—
	当期純利益	35	11	△24	△69.0%	31	35%
■ 電力・ ユーティリティ	売上収益	545	613	+68	+12.4%	—	—
	営業利益	8	74	+65	+811.5%	—	—
	当期純利益	3	44	+41	+1,274.8%	37	120%

# ホームライフ部門

## LPガス輸入価格の下落に伴う在庫単価変動の利幅への影響により減益

(億円)

	22年度 1-2Q実績	23年度 1-2Q実績	増減
売上総利益	83	<b>73</b>	△10
販管費	▲81	▲79	+3
営業利益/損失	2	▲4	△7
持分法損益	8	▲3	△11
当期純利益/損失	6	▲7	△12

### 主たる増減要因 (四半期純利益)

直売顧客軒数は、新規顧客の獲得や営業権買収の推進により、前期末より約8千軒増の約573千軒。LPガス販売数量は、平均気温が前年同期を上回ったこと等が影響し、前年同期を下回る。損益面は、LPガス輸入価格の下落に伴う在庫単価変動の利幅へのマイナス影響により減益。

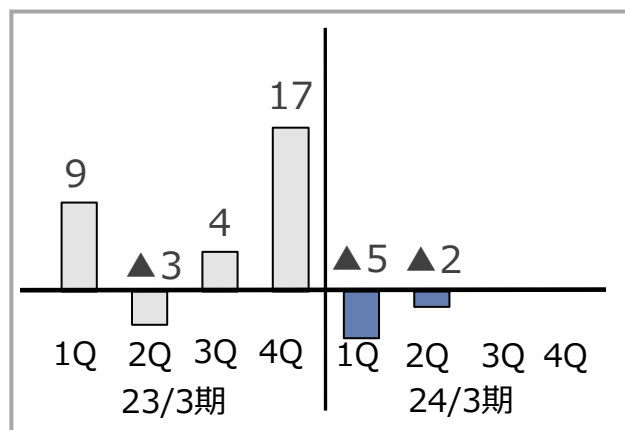
23年度  
通期計画

進捗率

27



### 四半期毎推移 (当期純利益/損失)



### 主な関係会社損益

	22年度 1-2Q実績	23年度 1-2Q実績	増減
伊藤忠エネクス ホームライフ西日本	2	1	△1
エコア (当社持分51%)	3	1	△2
エネアーク (当社持分50%)	2	▲0	△2

### 顧客軒数(千軒)

	23年 3月末	23年 9月末	増減
LPガス直売軒数	565	573	+8

### 販売数量

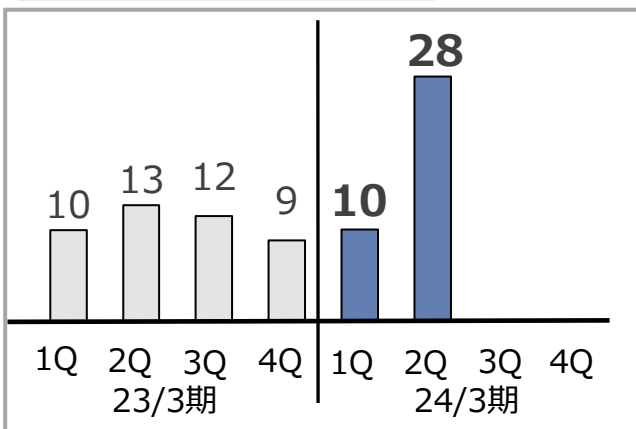
	22年度 1-2Q実績	23年度 1-2Q実績	増減比
LPガス(千トン)	192	182	△5%

# カーライフ部門

## 自動車ディーラー事業の貢献とCS跡地の売却益により増益

	22年度 1-2Q実績	23年度 1-2Q実績	増減	主たる増減要因 (四半期純利益)	23年度 通期計画	進捗率
売上総利益	238	<b>255</b>	+17		CS数は前期末より20ヵ所減の1,590ヵ所。石油製品の販売数量は需要回復傾向にあり前年同期を上回る。自動車販売台数は、半導体の供給回復により新車販売が好調に推移し、前年同期を上回る。損益面は、ディーラー事業の新型車販売が好調に推移したこと、CS跡地の売却に伴う一過性の利益により増益。	43
販管費	▲196	▲ <b>202</b>	△5			
固定資産損益	0	<b>15</b>	+15			
営業利益	44	<b>70</b>	+26			
持分法損益	0	<b>1</b>	+0			
<b>当期純利益</b>	24	<b>38</b>	+15			

四半期毎推移（当期純利益）



主な関係会社損益

	22年度 1-2Q実績	23年度 1-2Q実績	増減
エネクスフリート	11	12	+1
大阪カーライフグループ (当社持分51.95%)	5	9	+4

販売数量

	22年度 1-2Q実績	23年度 1-2Q実績	増減比
ガソリン(千KL)	1,080	1,087	+1%
軽油(千KL)	1,193	1,379	+16%
新車(千台)	12	13	+7%
中古車(千台)	9	9	△3%

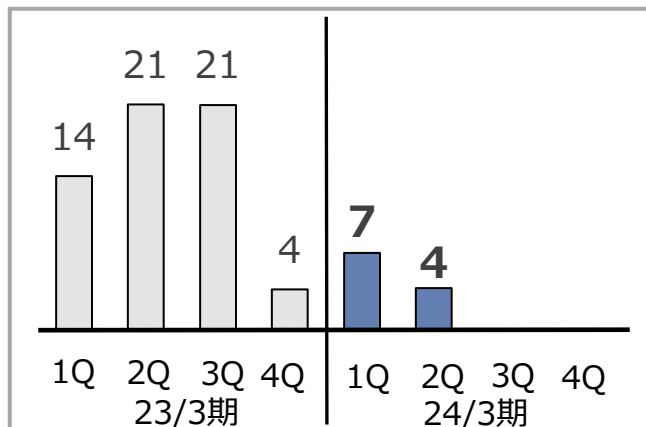
## 産業ビジネス部門

## 前年同期に好調であった流通ターミナル事業等の反動により減益

(億円)

	22年度 1-2Q実績	23年度 1-2Q実績	増減	主たる増減要因 (四半期純利益)	23年度 通期計画	進捗率
売上総利益	84	<b>47</b>	△36	船舶燃料事業は外航船向け取引の一部縮小により販売数量は前年同期を下回る。アドブルー販売事業は販路開拓が順調に進み、販売数量は前年同期を上回る。損益面は、産業ガス事業が好調に推移したものの、前年同期に好調であった流通ターミナル事業や船舶燃料販売事業等の反動により減益。	31	35%
販管費	▲30	▲ <b>31</b>	△1			
営業利益	50	<b>15</b>	△35			
持分法損益	0	<b>1</b>	+0			
<b>当期純利益</b>	35	<b>11</b>	△24			

四半期毎推移（当期純利益）



主な関係会社損益

	22年度 1-2Q実績	23年度 1-2Q実績	増減
伊藤忠工業ガス	2	2	+1

販売数量

	22年度 1-2Q実績	23年度 1-2Q実績	増減比
重油(千KL)	896	505	△44%
アスファルト(千t)	112	124	+10%
産業用ガス(千t)	34	33	△4%
アドブルー(千KL)	46	52	+13%

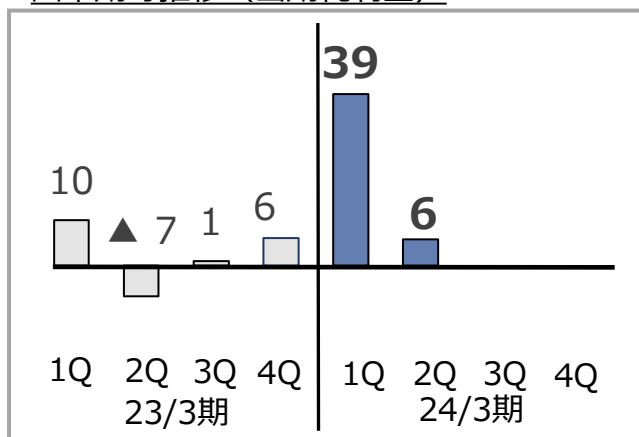


## ■ 電力・ユーティリティ部門

## 電力小売事業の貢献とメガソーラー売却益により大幅増益

	22年度 1-2Q実績	23年度 1-2Q実績	増減	主たる増減要因 (四半期純利益)	23年度 通期計画	進捗率
売上総利益	35	54	+19	電力小売事業の販売数量は、低圧は新規契約の獲得により前年同期を上回るが、高圧は採算販売により前期を下回り、全体では前年同期を下回る。熱供給事業は、平均気温が前年同期を上回ったことに伴う空調利用の増加により販売熱量は前年同期を上回る。損益面は、販売価格改定による電力小売事業の貢献と大規模太陽光発電所(メガソーラー)売却による一過性利益により大幅増益。	37	120%
販管費	▲29	▲32	△3			
固定資産損益	0	50	+50			
営業利益	8	74	+65			
持分法損益	4	3	△1			
当期純利益	3	44	+41			

四半期毎推移（当期純利益）



主な関係会社損益

	22年度 1-2Q実績	23年度 1-2Q実績	増減
エネクス電力グループ	4	4	△0
エネクスライフサービス	1	2	+2
東京都市サービス (当社持分66.6%)	6	8	+2
王子・伊藤忠エネクス電力販売 (当社持分60.0%)	2	1	△1
顧客件数（千件）	23年 3月末	23年 9月末	増減
電力供給件数（全社計）	334	321	△13

販売数量

	22年度 1-2Q実績	23年度 1-2Q実績	増減比	
電力小売（GWh）※	1,104	965	△13%	
内訳	高圧販売※	737	467	△37%
	低圧販売※	367	498	+36%
蒸気(千トン)	210	171	△18%	
熱量(TJ)	756	826	+9%	

※速報値ベースでの算出、電力小売については、取次数量を含む

## 2. 中期経営計画の進捗状況

### ① 概要・全社取り組み状況

# ENEX2030

くらしの原動力を創る

生活や産業へ多様なエネルギー・サービスを提供し  
更なる成長・変革へ挑戦する

## ENEX2030 経営目標

### 財務指標

当期純利益

**200**億円  
以上

実質営業キャッシュ・フロー

**450**億円

ROE

**9.0%**  
以上

新規戦略投資

**2,100**  
億円

### 非財務指標

GHG排出量

**50%**以上  
削減

(2018年度比 Scope1.2)

女性採用比率

**30%**  
以上

女性管理職比率

**10%**

男性育休取得率

**80%**  
以上

## 経営目標

### 財務指標

当期純利益

**135**億円  
(2023・2024年度)

実質営業CF

每期  
**350**億円

累計投資額

**600**億円  
(内、CAPEX160億円)

ROE

**8~9%**  
(2023・2024年度)

### 株主還元

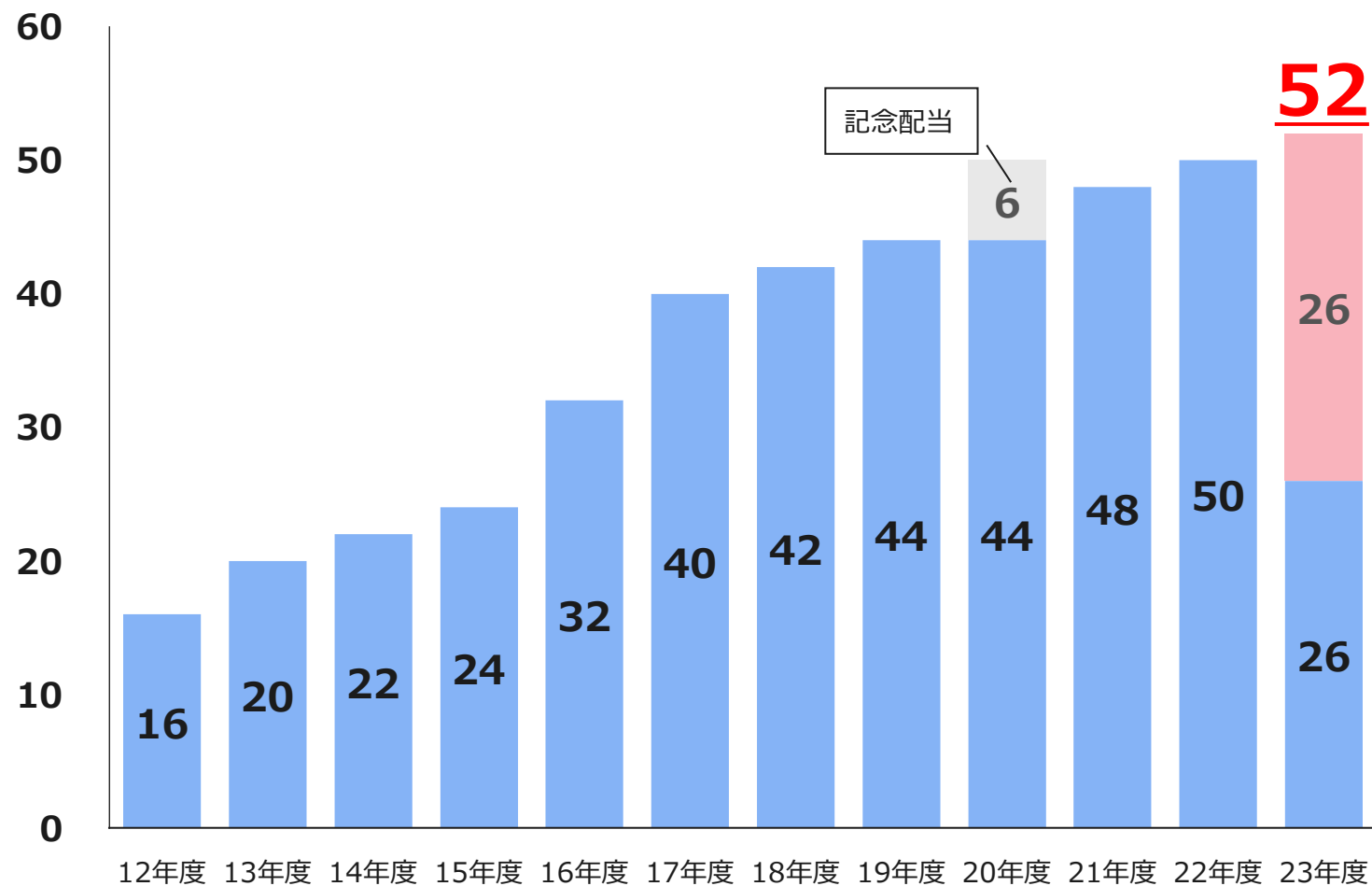
配当政策

**累進配当**

**連結配当性向  
40%以上を  
強く意識**

# 2023年度 株主還元

## 中間配当金は26円、年間52円を計画



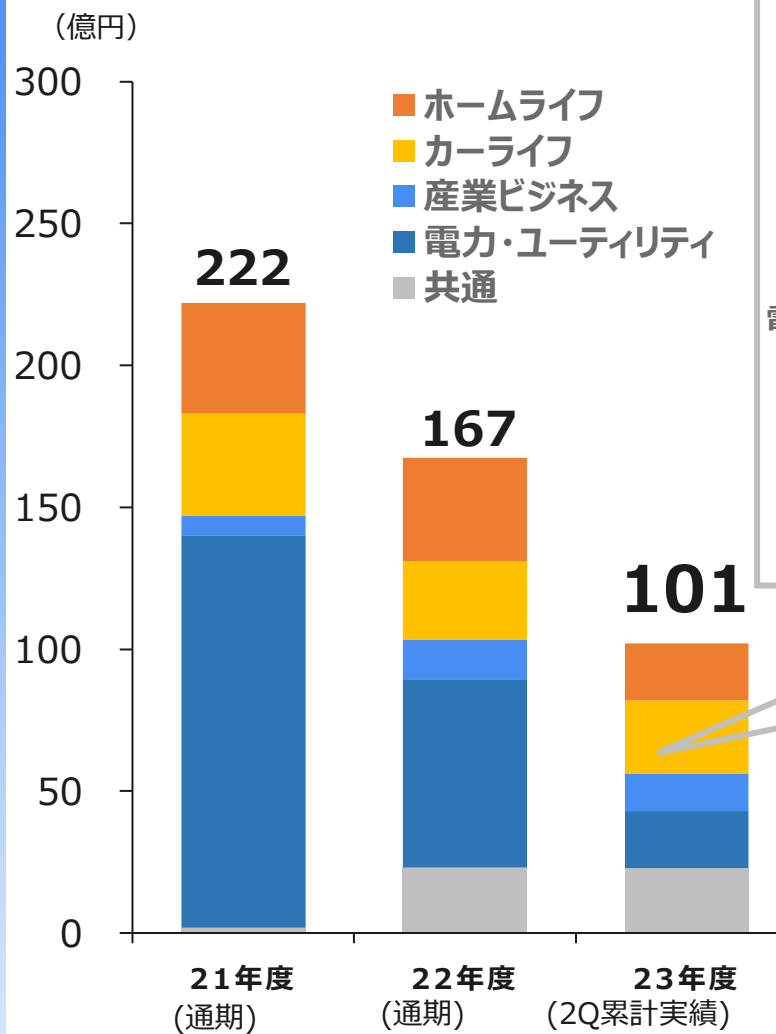
### '23-'24年度 株主還元

- 累進配当
- 連結配当性向40%以上を強く意識

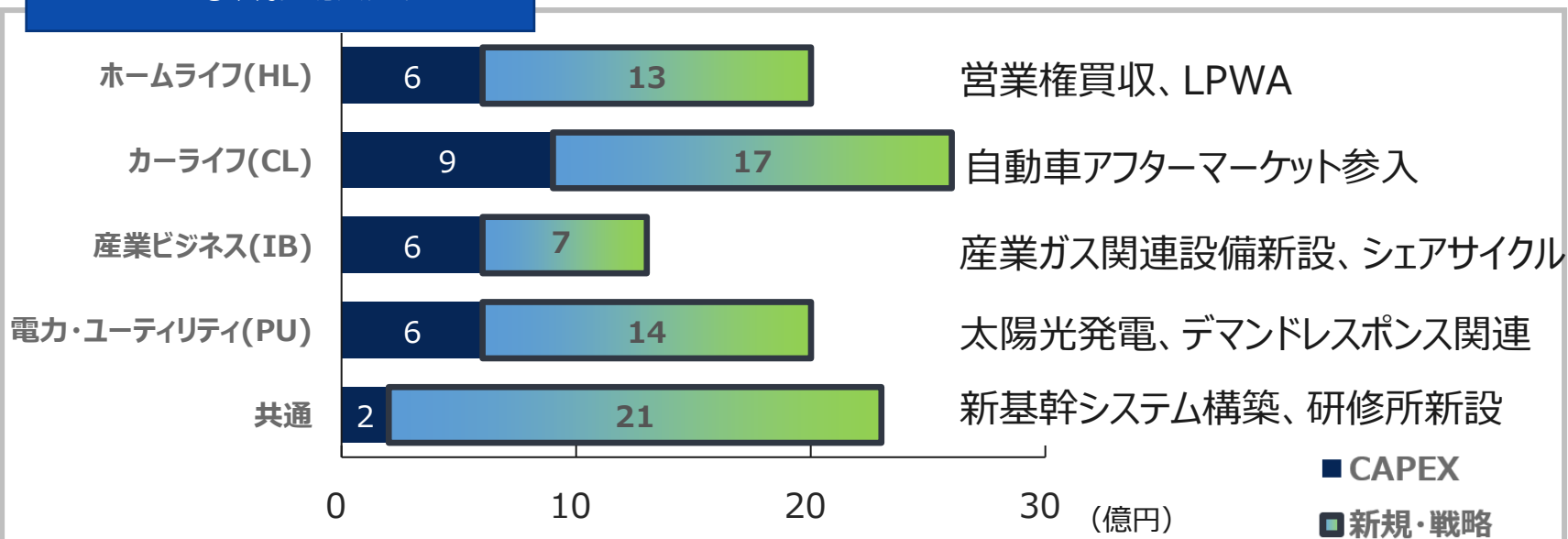
2023年度配当は、  
年間52円を維持予定

配当性向 (%)	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	32.4	31.7	45.2	36.3	34.8	41.0	41.0	41.2	46.4	41.1	40.8	43.5

# 投資進捗 内訳



## 主な成長投資



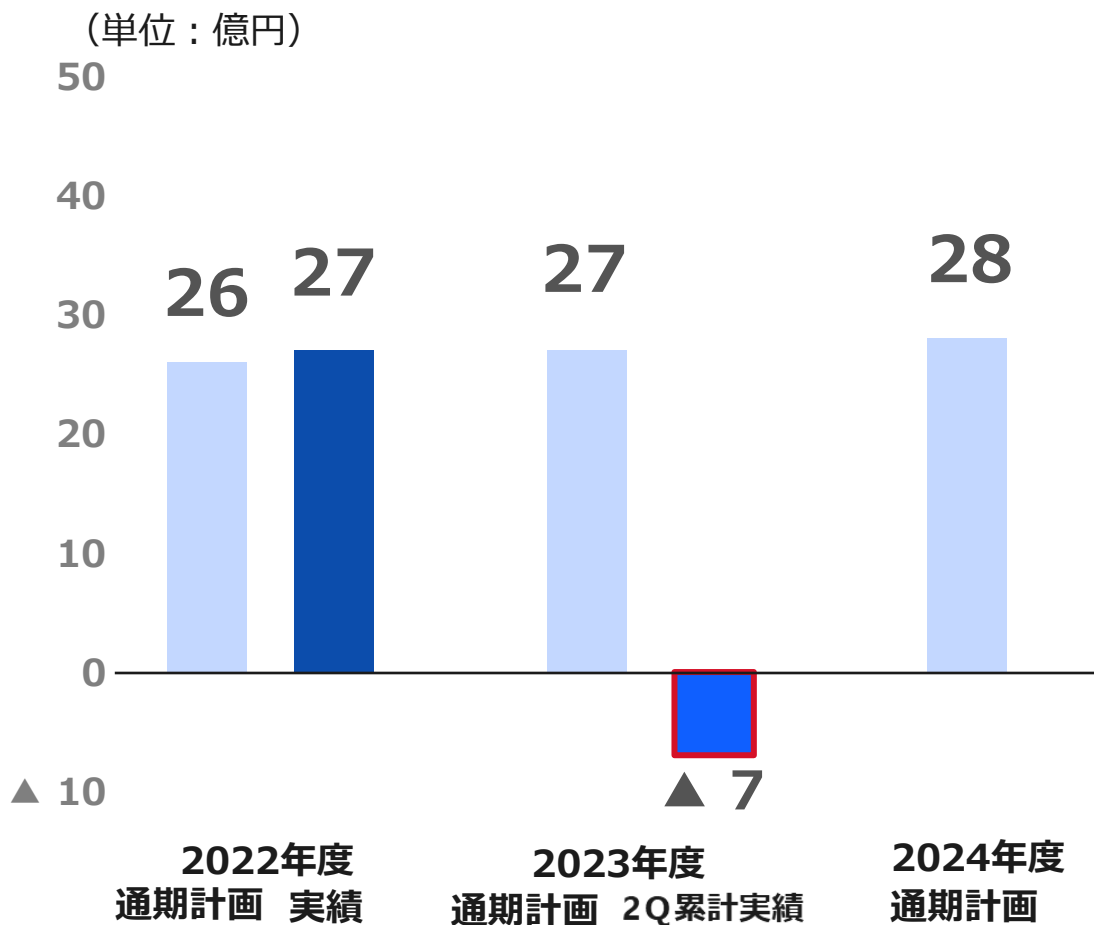
投資実績	23年度 2Q累計実績	HL	CL	IB	PU	共通
新規・戦略	72億	13億	17億	7億	14億	21億
CAPEX	29億	6億	9億	6億	6億	2億
計	101億	19億	26億	13億	20億	23億

## 2. 中期経営計画の進捗状況

### ② 各部門の上期進捗状況



■ 当期純利益 計画・実績



中期経営計画

注力分野の進捗

■ LPガス事業

- ・LPガス顧客軒数573千軒（前期末差+8千軒）
- ・設置機器別顧客データベース再構築着手
- ・IOセンターによる顧客品質向上と営業効率化を推進

■ 新事業・新サービス

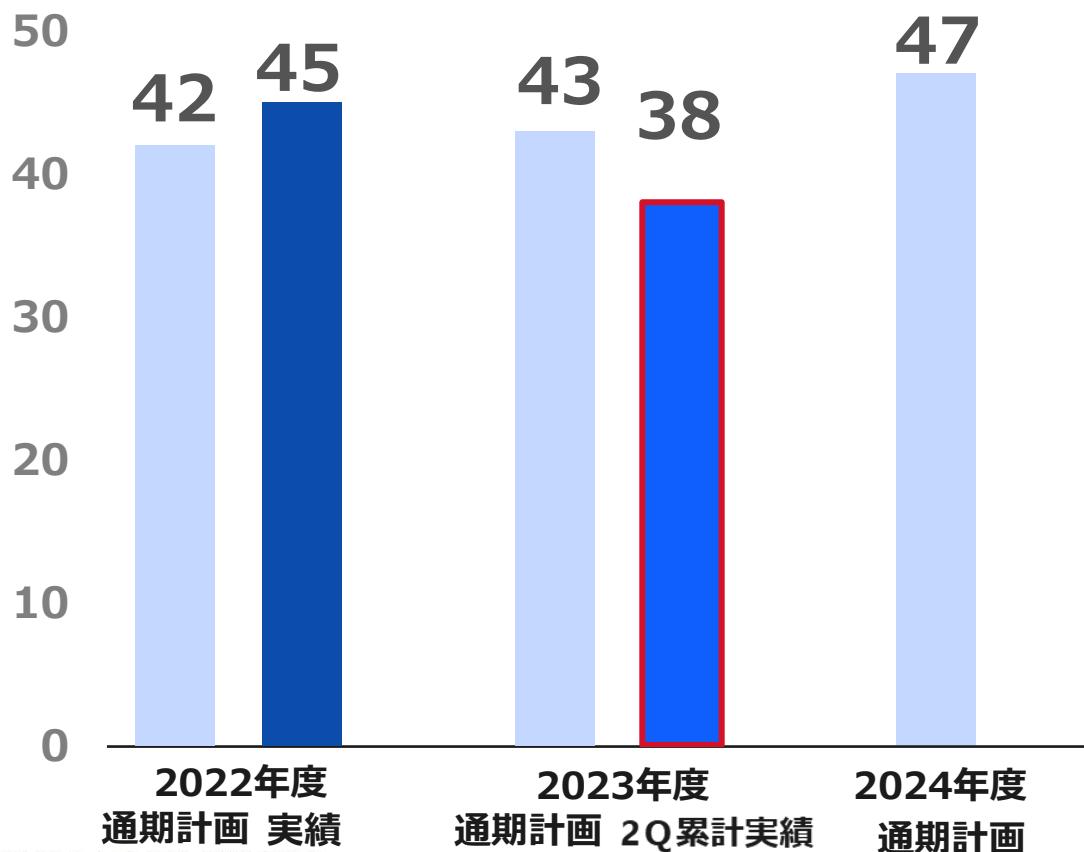
- ・地域別スモールビジネスの着手
- ・顧客満足度向上に向けたポイント・プログラムの見直し
- ・LPガス物流網と周辺領域事業のM&A推進

■ IT&デジタル

- ・保安監査&期限管理&教育分野のデジタル化
- ・LPWA普及によるゴールド認定取得（今期7社見込）及び拠点統廃合の推進
- ・顧客誘導Webツールの刷新継続

■ 当期純利益 計画・実績

(単位:億円)



中期経営計画

注力分野の進捗

■ 石油卸事業

- ・多様な決済と共通ポイント利用促進による基盤の拡大
- ・ECサイト(カー用品販売)の販売チャネル拡大

■ 石油小売事業

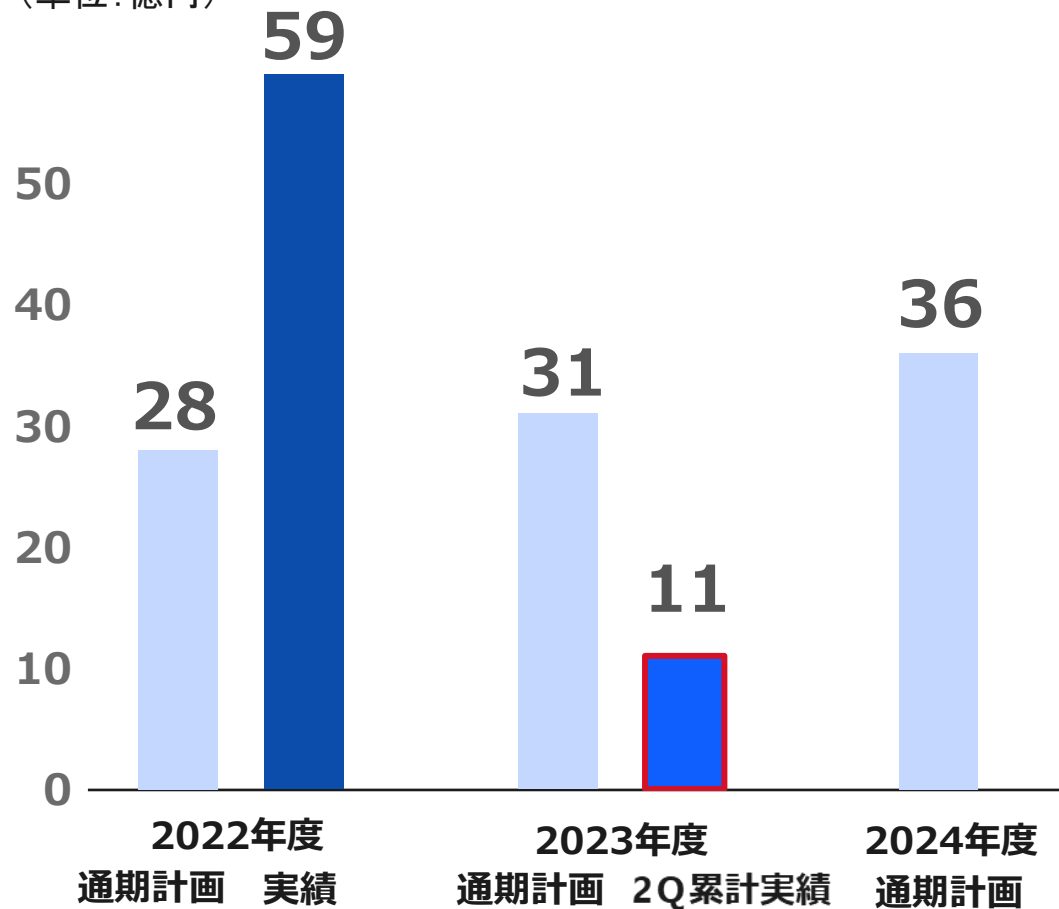
- ・フリート代行店の提携強化
- ・大分エリアにて野菜の受託販売業スタート

■ モビリティ事業

- ・ららぽーと門真店にて新業態の店舗オープン
- ・(株)ナルネットコミュニケーションズへの資本参加

## ■ 当期純利益 計画・実績

(単位: 億円)



## 中期経営計画

### 注力分野の進捗

#### ■ 既存事業の更なる強化

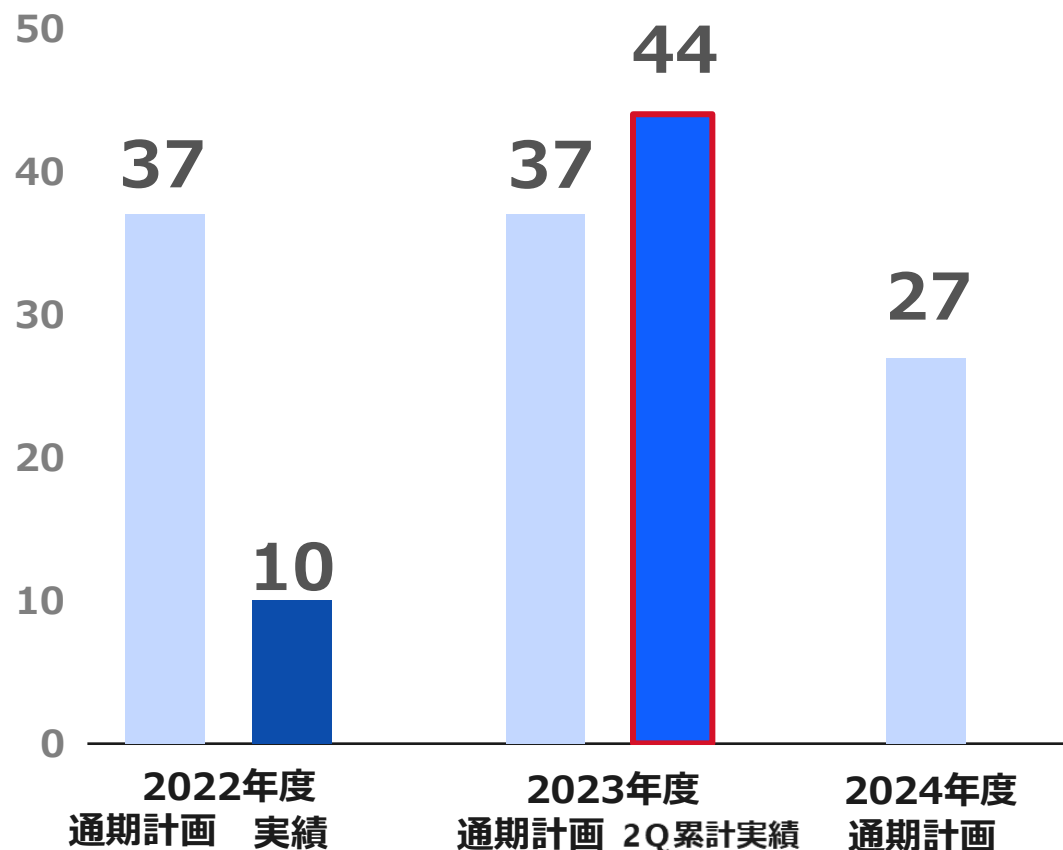
- ・リニューアブルディーゼル燃料事業の拡大  
大阪・関西万博の建設工事への供給開始
- ・岡山AdBlue®工場建設
- ・袖ヶ浦アスファルト基地タンク増設

#### ■ 新規事業の開発

- ・OpenStreet社と資本業務提携契約締結  
シェアサイクル実証実験の開始
- ・LNGバンカリング船の進水 (竣工予定2024.3)

■ 当期純利益 計画・実績

(単位: 億円)



中期経営計画

注力分野の進捗

■ 電力・DX活用による顧客基盤拡大

- ・ 電力とモビリティ顧客基盤合計65万へ
- ・ 無人レンタカーシステム「楽のりスマート」の開発・導入

■ 脱炭素と経済性の両立

- ・ コープさっぽろ店舗向けPV自己託送サービス取組開始（108店舗向け200カ所）
- ・ 高崎大型メガソーラーの売却完了

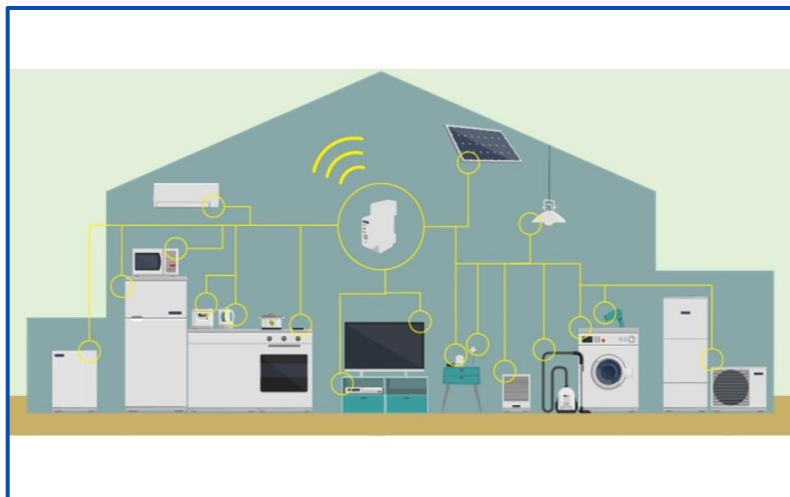
■ 新たな付加価値サービスの提供

- ・ インフォメティス社との資本業務提携を通じた電力データ活用事業への参画

# Appendix

# 【Appendix】2023年度の取り組み状況

## AIを活用した電力分析 による新サービス



- ・インフォメティス(株)と資本業務提携を実施。
- ・インフォメティスは「電力の見える化」サービスを提供。
- ・デマンドレスポンス等を通じたエネルギーの効率的利用、高精度電力データを活用した新たなサービス・ソリューションの提供に向け取り組んでいく。

## 自動車アフターマーケット への投資



- ・伊藤忠商事(株)と共に、(株)ナルネットコミュニケーションズへの資本参加を実施。
- ・ナルネットはリース車両のメンテナンス受託管理事業を展開。
- ・伊藤忠グループのノウハウを活かし、自動車の多種多様な整備に対応可能な体制を構築し、自動車アフターマーケット事業の拡大に取り組む。

## 持続可能な アスファルト供給体制の推進

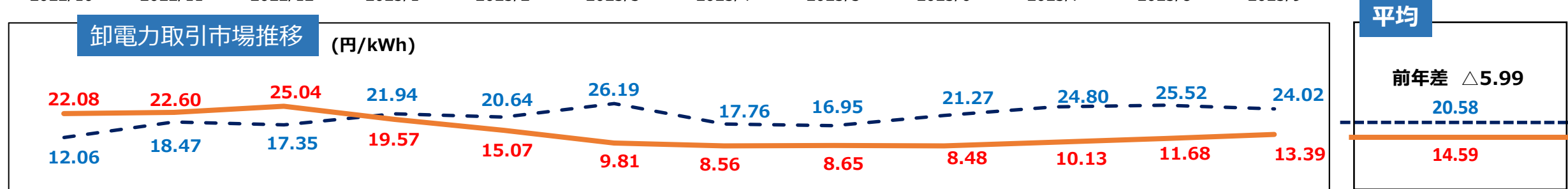
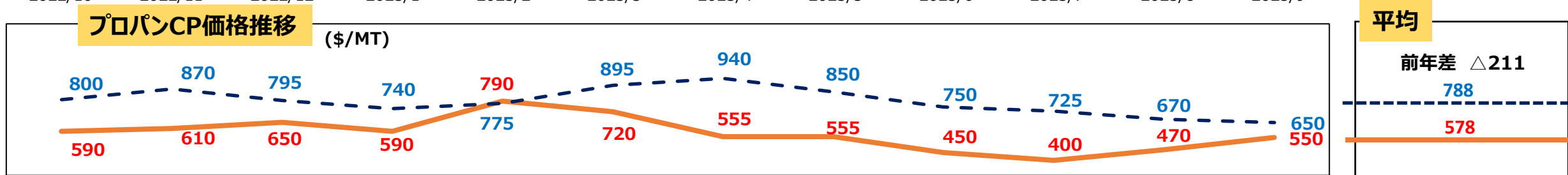
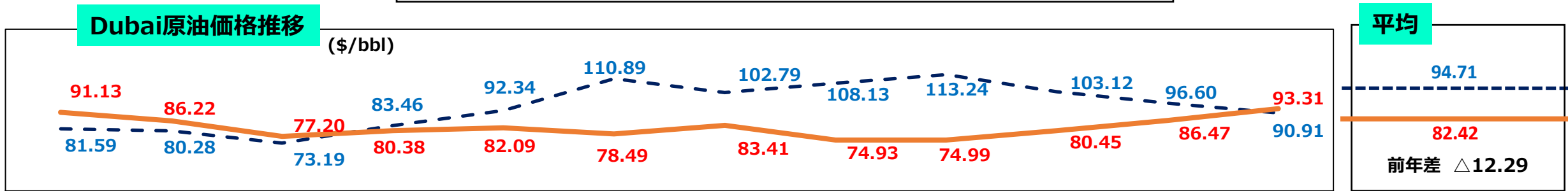


- ・ニチレキ(株)と資本業務提携を実施。
- ・ニチレキは道路舗装に関する製品・工事・技術等を幅広く提供。
- ・環境負荷低減型事業の推進、アスファルトやアスファルト関連製品の安定・安全な供給体制の構築のため、道路インフラメンテナンス領域事業をさらに強化していく。

## 【Appendix】市場動向

# 原油・CP価格はやや上昇傾向、電力価格は安値圏で推移

— 直近一年 (2022.10~2023.9)      - - - 前年同月

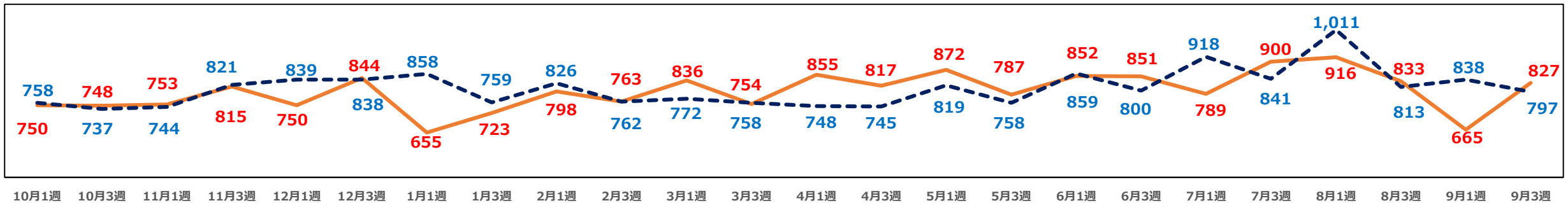


# Appendix

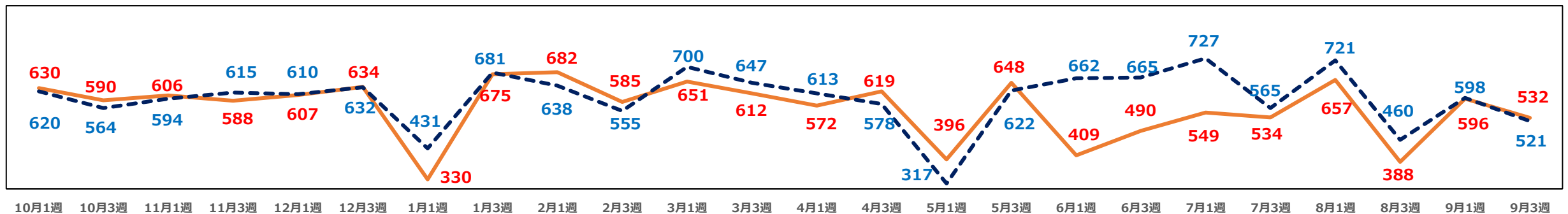
## 【参考】 ガソリン・軽油の国内出荷状況(全国統計)

ガソリン週間出荷量 単位(千kL)

— 直近一年 (2022.10~2023.9)    - - - 前年同月



軽油週間出荷量 単位(千kL)



※ 石油連盟の統計資料を基に作成



# Appendix

## 【参考】 LPガス月別販売数量(9月～8月 全国統計)

単位(千 t)

	9月			10月			11月			12月			1月			2月		
	2021	2022	増減	2021	2022	増減	2021	2022	増減	2021	2022	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減
家庭・業務用	442	440	△1%	509	492	△3%	618	621	+0%	849	810	△5%	835	822	△2%	800	765	△4%
自動車用	29	31	+8%	33	30	△8%	31	31	△1%	37	32	△13%	30	28	△8%	26	28	+8%
合計	471	471	△1%	542	523	△4%	649	652	+0%	886	843	△5%	865	850	△2%	826	793	△4%

	3月			4月			5月			6月			7月			8月			合計		
	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	前年 年間	直近 年間	増減
家庭・業務用	806	722	△10%	621	566	△9%	529	533	+1%	499	465	△7%	448	430	△4%	402	409	+2%	7,358	7,075	△4%
自動車用	31	29	△6%	31	28	△10%	30	29	△2%	32	29	△8%	34	32	△6%	32	31	△1%	375	359	△4%
合計	837	751	△10%	652	594	△9%	559	563	+1%	530	494	△7%	482	461	△4%	434	440	+1%	7,733	7,434	△4%

※ 日本LPガス協会の統計資料を基に作成

# Appendix

## 【参考】新車／月別販売台数(普通車・小型車、軽自動車)(10月～9月 全国統計)

単位(千台)

	10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	2021	2022	増減	2021	2022	増減	2021	2022	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減
普通・ 小型車	151	186	+24%	189	193	+2%	191	181	△5%	182	202	+11%	185	237	+28%	285	330	+16%
軽自 動車	80	110	+37%	103	115	+12%	89	104	+17%	91	118	+30%	105	120	+14%	142	148	+4%
合計	230	296	+28%	292	308	+6%	280	284	+1%	272	320	+17%	290	356	+23%	426	478	+12%

	4月			5月			6月			7月			8月			9月			合計		
	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	前年 年間	直近 年間	増減
普通・ 小型車	154	193	+26%	136	180	+32%	170	227	+34%	187	222	+19%	154	183	+19%	212	238	+12%	2,194	2,571	+17%
軽自 動車	91	96	+6%	75	92	+22%	98	105	+7%	101	99	△2%	80	97	+22%	113	126	+11%	1,168	1,329	+14%
合計	244	290	+19%	212	272	+28%	268	332	+24%	288	321	+11%	234	281	+20%	325	363	+12%	3,362	3,901	+16%

※ 日本自動車販売協会連合会 及び 全国軽自動車協会連合会の統計資料を基に作成

問い合わせ先

**IR・企画課**      **担当：今泉、中村**  
**【TEL】03-4233-8025**      **【FAX】03-4533-0103**  
**【E-MAIL】enex\_irpr@itcenex.com**